

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成20年10月1日		
		作成部署	中丹広域振興局農村整備担当		
事業名	府営ため池等整備事業	地区名	みやのおくいけ 宮ノ奥池		
概算事業費	88,000千円	事業期間	平成21年度～平成24年度		
事業概要	農業用ため池改修 堤体工L=43.0m 取水施設工1式 洪水吐工1式				
目指すべき環境像	老朽化に伴い、漏水のある堤体、取水機能の低下がみられる取水施設、断面が不足している洪水吐を改修することで、農業用水の安定的供給と災害を未然に防ぎ、豊かな自然環境を有する里山と一体化したため池と下流に広がる水田が形成する豊かな農村風景を保全する。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO2排出量等)	ため池及びその周辺には多様な動植物の生息環境が形成されており、その維持保全に配慮する必要がある。	ため池の通常の貯水及び落水期間を守り、工事は落水期間に合わせて行うことで、環境の激変を防ぎ、周辺生物の維持保全を図る。 また、ため池に隣接した里山を土取場としているため、土取りを行う際に表土を仮置きし、工事完了時には従前の植生の種子等を含む表土を戻すことによって再生・回復を促す。		
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種			○	4
	生態系			○	4
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	ため池の老朽化により適正な水管理が難しくなりつつあるため、破堤により、農地、農業用施設及び一般、公共施設が被災する危険性が増している。	ため池を改修することで防災機能を向上させ、増水時に適正な水管理を行うことにより、ため池の決壊を未然に防ぐ。		
	水環境・水循環			○	4
	大気環境				
	土壌・地盤環境	工事車両の増加により騒音・振動の増加が予想される。	低騒音・低振動の工事用機械を使用する。	3	
	騒音・振動			○	
	廃棄物・リサイクル	工事により発生する残土の抑制、再使用が必要である。	築堤土の土取場等に残土を戻すことにより残土処分量の低減を図るとともに、既存コンクリート施設は再資源化施設へ搬入する。	3	
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	ため池周辺は、豊かな自然環境を有する里山が存在し、水田地帯と一体となった農村景観を形成しており、維持保全が必要である。	工事のための落水時期にあわせて地域住民と協働して水生生物の環境学習に取り組む。	3	
	里山の保全			○	4
	地域の文化遺産				
	伝統的行事	ため池は集落から近く、地域住民が立ち寄ることが考えられ、また、現在の景観・環境を保持して欲しいとの地域住民の声もある。	地域住民が立ち寄ること及び景観に配慮して、安全対策として、間伐材を使用した転落防止柵を設置する。		
	地域住民との協働			○	4
	その他				